

事案名	小倉陸軍造兵廠（北九州市）の事案（福岡県40-6）
分類	生産・保有 現在の状況
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「兵器及び弾薬員数表」〔1〕 ・「終戦時各補給廠ノ化学戦弾薬ノ状況」（作成主体、作成年月日は不明）〔2〕 ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について」平成15年11月4日〔3〕
資料内容概要	<p>終戦時、小倉陸軍造兵廠では、あか弾、きい弾が保有されていたと記載されている。また、昭和20年10月には催涙弾が存在していたと記載されている。</p> <p>生産・保有情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和20年10月に、小倉陸軍造兵廠には、催涙筒60本が存在していたと記載されている〔1〕。 ・終戦時、小倉陸軍兵器補給廠(旧小倉市)に90mmあか弾が50,000発、小倉陸軍兵器補給廠長浜倉庫に100mmきい弾が80,000発保有されていたと記載されている〔2〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの工場が現存しているが、それ以外は都市高速道路が走り、公的機関や教育施設が建てられている。付近を流れる紫川の勝山橋における河川水質調査結果によると、ヒ素に関する異常は見られなかった〔3〕。